



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax // 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1

【HP】 <https://www.chibumura.ed.jp/>

子どもの成長を願う

「子育て四訓」

校長 若本 剛

いよいよ明日から夏休みとなります。今、職員室の前の花壇には「緑のカーテン」にするためのゴーヤが日に日に蔓を伸ばしています。

七十日間の一学期、コロナ禍で様々な教育活動が制限される中でも、子どもたちは今できることに一生懸命取り組み、様々な場面で子どもたちの素敵な笑顔がありました。明日からの夏休み期間中は、普段できないことにも積極的に取り組み、学力・体力・気力を蓄えてほしいと思います。

さて、ここで紹介する「子育て四訓」は、アメリカンインディアンの教えとして、自立へつながる子育てにどのように向き合うべきかが示されています。夏休みを前に改めて親として、学校として、地域社会として、親子の関係を見直すことが大切な時期と言えるのではないのでしょうか。

〈子育て四訓〉

- 一、乳児はしっかりと肌を離すな
- 二、幼児は肌を離せ、手を離すな
- 三、少年は手を離せ、目を離すな
- 四、青年は目を離せ、心を離すな

小学校の時期はとりわけ、二と三の間、中学校の時期は三の時期ではないでしょうか。小中学校の時期は家族、友人、地域など、他者とのかわりの中で社会性が育つ時期です。子どもの成長に応じて、私たち子どもへの接し方を変えていかなければなりません。そして大切なのは、最後まで「心」を離してはいけないということです。

【学校教育目標】

未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・共に生きる子ども
- ・たくましく
生きる子ども
- ・ふるさとを
愛する子ども

子どもは、成長とともに親に反抗したり心が不安定になったりすることがあります。それは、「こちらを向いてほしい」というメッセージを送っているのかもしれませんが。それは成長の過程であり、親としてはしっかりと子どもに向き合い、共に成長することを心がける時期だと思っています。

もちろんこの「四訓」の言葉だけで言い尽くされ、うまくいくものではありません。しかし、一学期の振り返りとこれからのヒントとなるものだと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には一学期の本校の教育活動に対して、多大なご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、家庭・地域・学校が互いに連携・協力し、「知夫の宝」である子どもたちを共に育てていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

七月二十二日から始まる県総体に向けて、保護者の皆様の熱い応援をよろしく願っています。

みんなで外掃除

担当 更田恵子

七月一日に、全校児童生徒で外掃除を行いました。縦割りの三班に分かれて、学校裏、学校の入り口周辺、そして鉄棒周辺の草抜きや石拾いに取り組みました。文化福祉委員会の立てた「集中して掃除をする」という目標のもと、声を掛け合いながら休むことなく協力して行う姿が印象的でした。反省会では、目標を達成できた全員が発表し、振り返りを行いました。一致団結して時間いっぱい取り組むことができた外掃除でした。



ハナさん、ありがとう！

文化・福祉委員長 永谷幸綱
今回は、小学一年生から中学三年生が初めて一緒に取り組んだ外掃除でした。ふりかえって、委員長として、説明をもう少し具体的に「一からきちんと説明するべきだった」と思いました。初めて外掃除をした一年生に感想を聞くと、「楽しかった」や「またしたい」などの言葉が多かったので、やりがいを感しました。これからするときはより楽しくできるように工夫したいと思います。

ALTとして二年間勤務していただいたハナ・カリさんが、今学期をもってアメリカに帰られることになりました。授業はもちろん、様々な活動を通して、外国のことや英語の楽しさを教えてくださいました。

I have lived in Chibu for 2 years. Chibu has beautiful nature and beautiful people. I feel very lucky to have lived here. I want to thank the Board of Education and Chibu Elementary and Junior High school for having me as a teacher. It was an honor to be able to teach and learn with everyone here. The students are bright and kind. I hope they are able to be successful in the future. I also want to thank everyone in Chibu for welcoming me warmly. Chibu has become my second home. Even when I go back to America I will never forget my experience here. I want to go back to America and share my experience of Japanese culture. I want more people to know about how wonderful Chibu is! I hope one day I can return to Chibu and see everyone again!

私は二年間知夫にいました。知夫には、美しい自然と、そして、すてきな人々がいました。本当にこの知夫に住めて幸運だったなあ...と感じています。私を教員として受け入れてくれた、知夫村教育委員会、知夫小中学校に、心から感謝しています。この場所で、皆さんとともに、教壇に立ち、教え学んだことは、私にとって名誉あることでした。子供たちは、みな賢く優しい人ばかりでした。すべての子供たちの未来が輝かしいものであることを望んでいます。

また、私を温かく歓迎してくれた知夫の皆様にも感謝しています。知夫というところが、私の第二の故郷となりました。アメリカに帰っても、知夫での体験のことは忘れられないものになると思います。そして、アメリカで、この日本文化の体験を人々と分かち合いたいと思っています。こんな素敵な島・知夫村がもっと多くの人々に知ってもらえたら良いと思っています。

いつの日かまたこの知夫に戻ってきて、皆さんに会えることを楽しみにしています！



小学部プール学習

小学部五・六年担任 三島 健

小学部では、七月二日と九日に、西ノ島町民プールに掛けて水泳学習を行いました。低学年は小プールで浮いたり水の中を走ったりなどの「水遊び」、中・高学年は大プールのレーンを使い、バタ足やクロール、平泳ぎなどの「水泳運動」に取り組みました。前年度はコロナ禍で実施できなかった分、子どもたちは元氣いっぱい水に慣れ親しむことができました。

これから夏休みに入りますが、ぜひ、海水浴等の経験も積み重ねてほしいと思います。





小学部一年 隠木風雅
きんようびにぶうるをしました。がっこうのみんなでした。にしのしまのぶうるでした。およぎました。つかれたけどのしかったです。

小学部六年 高田 明
平泳ぎは初めてやったらけれど、二十五メートル泳がたからうれしかったです。カエル足のキックが難しかったです。クロールも二十五メートル泳げたのでうれしかったです。途中で鼻に少し水が入ってしまったので、顔に水をつけたときは、鼻からブクブク息を出すようにしたいです。平泳ぎとクロールを海でもやってみたいなと思いました。

第一回クラブ活動

担当 平山佳会

今年度のクラブ活動は、小学部三〜六年生全員で「知夫でしかできない活動」を行います。事前のオリエンテーションでは、教育委員会の方に知夫ならではの興味関心をそえられるような活動を紹介していただき、今年度の活動計画を話し合いました。一回目のクラブ活動は、知夫の郷土料理「まき」作りです。講師として仁夫地区の金崎朝香さんにお越しいただき、知夫のまきのことや作り方を丁寧に教えていただきました。

知夫では、旧暦の端午の節句の時期にまきを作って食べることや、知夫にはクマザサやカシワの葉が自生していないため、団子を包む葉はカタリ（サルトリイバラ）の葉を使用することなど、まきを食べたことのある子も初めて知った様子でした。団子をこねる水の量やあんこの量は決められておらず、分量や手の感覚で作ることに苦戦していましたが、どの班も協力してきれいなまきができていきなり、みんなでおいしくいただきました。

講師の金崎さんには、準備から片付けまでご足労いただきました。ありがとうございました。

小学部六年 萬 萌衣

今回は初クラブだったけれど、みんながめあてを意識して調理ができていたと思います。知夫の人がちえを出し合って作りあげた「まき」の歴史を知ることができてよかったです。みんなでおいしく作れたし、楽しそうにつくっている人が何人もいたから、今回の活動はよかったと思います。次回のクラブも今回のように楽しいクラブにしたいです。



小学部三年 崎 拓夢

丸めることがむずかしかったです。だけど、何回かして上手になりました。あんこを入れるとき、ひらたすぎるものがあつたけど、うまくできてよかったです。まきができてから、「おいしかったです。」と先生たちが言ってくれてうれしかったです。

人権の花植え替え活動

担当 柴木真和

雨で延期になっていたマリーゴールドの植え替えを七月十四日に行いました。5月に人権擁護委員さんから種を受け取り、子どもたちが大切に育ててきた花です。役場の前にあるロータリーと学校前のフェンスに植え替えました。当日は暑いぐらいの天気で、みんな汗をかきながら苗を植えました。

子どもたちからは「元気に育つてね。」と声が聞こえてくるなど、人権意識が高まっているのだなと感じました。きれいな花が咲いていますので、近くに来られることがありましたらぜひ見に来てください。

小学部五年 石橋怜星

人権の花の植えかえをしました。暑くて大変だったけれど、みんなで協力してできました。矢田さんや石橋さんの話を聞いて、水やりや植えかえを自分からできました。役場の前が、マリーゴールドでカラフルになってよかったです。



島前フレンズ合同学習

おひさま学級担任 清水奈津紀

七月十三日に小学部おひさま学級が、島前フレンズの合同学習に参加しました。この日は西ノ島町の海洋スポーツセンターで、シーカヤックや魚釣りを楽しみました。初めてのフレンズでの活動で、朝から緊張と楽しみな気持ちでドキドキしていた由芽さんでしたが、いそがが別府港に近づくと、目がキラキラと輝いていくのが印象的でした。今回の学習のめあては、「出会った人に大きな声であいさつをする」、「約束を守って安全に楽しく活動する」でした。持ち前の人懐っこさを発揮し、出会った方全員に挨拶をして、おしゃべりを楽しお姿がとても素敵でした。初めてのシーカヤックは、揺れを怖がる様子もありましたが、勇気を振り絞り少しの時間で一人一人乗ることができました。今回の交流を通して、四月からの成長を感じることができました。今後の学校生活にも繋がっていきなす。



小学部一年 前原由芽

おさかながつかれたけどのしかったです。

知夫小中PTA事務局より

四月のPTA総会中止に伴い、昨年度の事業・会計報告及び今年度の事業計画と予算案につきまして、書面審議をお願いいたしました。結果、過半数の承認をいただきました。ご協力ありがとうございました。

今年度の事業として、八月二十八日（土）に奉仕作業を計画しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響で行事が縮小される中ですが、会員の皆様の親交を少しでも深められるように、研修部の理事さんを中心に、二・三学期に活動を計画していただく予定です。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。